



FSW≡ニろく

2025Rule Book

更新情報

2025年4月5日 更新（ルール変更なし）

【大会名称】

FSW ミニろく

富士スピードウェイ ミニバイク 6 時間耐久レース

【参加申し込み先】

富士スピードウェイ内 ミニろく事務局

〒410-1307 静岡県駿東郡小山町中日向 694

TEL 0550-78-2255

E-メール kart@fujispeedway.co.jp

【募集台数】

カートコース 約 20 台

ショートサーキット 約 40 台

レーシングコース 140 台以下（練習走行は 80 台以下）

筑波サーキット 80 台以下

【参加資格・車両】

- 1) 自動車運転免許、または自動二輪免許をお持ちの 18 歳以上の方。
- 2) 1 チームに対しライダー 3 名以上で参加してください。
- 3) 使用できる車両は 1 台。スペア車両は使用できません。

【その他お知らせ】

- 1) 富士スピードウェイ入場の際し入場料金がかかります(FISCO ライセンス所持者と中学生以下は無料)。筑波サーキット戦においては入場無料となります。
- 2) ショートコース戦とカートコース戦においては障害保険を含みません。各自でご加入下さい。レーシングコース戦に於いては参加費に FISCO 一日補償制度が含まれます。
補償制度の詳細 <http://www.japan-racing.jp/fsw/rbook/fisco.pdf>
- 3) 筑波サーキット戦は、参加費とは別途ライダー 1 名につき 1,000 円の筑波サーキット保険制度加入が必須となります。但し有効な筑波サーキット会員の方は加入の義務はありません。
- 4) 参加受理書、入場整理券、車両通行証などは発行致しません。
- 5) 万一のために健康保険証を持参ください。

【参加申込】

- 1) 申込み手順は大会ホームページをご確認ください。
<http://www.japan-racing.jp/fsw/mini6.html>
- 2) ショートサーキット戦、レーシングコース戦、筑波サーキット戦においては、公平性を保つために予選順位(入金順)を基準にピット番号を決定しています。他のチームと隣接ピットを希望の際は纏めて送金する事をお勧めします。
- 3) 振込先
りそな銀行、小田原支店、普通 1391221、フジスピードウェイカートコース

【レース当日の参加受付提出書類】

- 1) 運転免許証はコピーでの提示不可。

	カート コース	ショート コース	レーシング コース	レーシング コース 練習走行	筑波 サーキット	筑波 サーキット 練習走行
参加誓約書	○	○	○	○	○	○
車両仕様書		○	○		○	
装備仕様書		○	○		○	
運転免許証と ライセンス※2	○	○	○	○	○	○
保険申請書※3					○	○

※1 当日受付で配布

※2 コースライセンス保持者は提示

※3 筑波サーキット非会員は提出必須

【ブリーフィング】

レース当日に行われるブリーフィングでは、当日の最終確認を行います。参加ライダー及びピットクルーは全員参加しなければなりません。コロナ感染予防策として WEB や放送によるブリーフィングを行う場合もあります。

【計測機】

自動計測装置（トランスポンダー）を使用します。

車両への取り付けは計測機を走行に支障のない箇所へ**布製ガムテープ**でしっかりと固定してください。取り付け場所が不明な方は必ず係員へ確認ください。

計測器を破損、紛失、加工させた場合には実費をお支払いいただきます。

【車検、装備品確認】

- 1) 走行前に全車両の安全確認と全ライダーの装備品確認を行います。※コロナ対策により書面のみでの確認を行う場合もあります。
- 2) 車検はポンダーを搭載した状態で車検を受けてください。
- 3) 転倒やマシントラブルがおきた車両に付いては、チェックエリアで検員のチェック後にコース復帰となります。

【装備ルール】

- 1) ツナギは、パッドを装備した皮製のワンピースまたは 2 ピースのツナギを使用ください。出来るだけ安全な装備で参加ください。
- 2) 可能であれば、ヘルメット、ヘルメットリムーバー、脊椎プロテクション、チェストガードなどを装備する等 MFJ 公認の装備を推奨します。

- 3) ヘルメットは、2 輪ロード用フルフェイスヘルメットを使用して下さい。製造年月日や規格など基準はございませんが、大きな傷、割れ、シールド破損等があるヘルメットは使用できません。
- 4) 2 輪用レーシンググローブとレーシングブーツ着用厳守。
- 5) 装備は各ライダーに 1 セット用意してください。
- 6) ヘルメットリムーバーと脊椎パットの使用を強く推奨します。

【再車検】

レース終了は再車検を行い、その車両がルールに合致しているか確認するための車検を行います。対象車両は主催者の指定した車両とします。

【大会協賛ステッカー貼付】

参加受付で渡されるスポンサーステッカー（サイズ W150mm×H40mm 程度）を左右に 1 枚ずつ貼っていただきます。フロントカウル付車両はフロントカウルのサイドへ、フロントカウルの無い車両はガソリンタンク等へいずれも横から見えるところへ貼ってください。

【クラス区分】

50 クラス

- 1) 2 サイクル 50cc 以下のミッション付き車両。
- 2) 排気量 50cc 以下である限りエンジン及び車体の改造変更自由。

85 クラス

- 1) 2 サイクル 85cc 以下のミッション付き車両。
- 2) 排気量 85cc 以下である限りエンジン及び車体の改造変更自由。
- 3) キャブレターベンチュリ部の口径が 18φ相当以下であり、尚且つ無加工の製品であること。但しネジ式の交換可能なジェットとニードル類は変更可。

100 クラス

- 1) 4 サイクル 100cc 以下のミッション付き車両。
- 2) 排気量 100cc 以下である限りエンジン及び車体の改造変更自由。但し過給装置(ターボチャージャー、スーパーチャージャー)の使用は不可、ラムエアの導入は可。
- 3) キャブレターベンチュリ部の口径が 22φ相当以下であり、尚且つ無加工の製品であること。但しネジ式の交換可能なジェットとニードル類は変更可。

125-C クラス

- 1) 4 サイクル 125cc 以下、尚且つベースエンジンが 111 cc以下であるキャブレター車両。
- 4) 排気量 125cc 以下である限りエンジン及び車体の改造変更自由。但し過給装置(ターボチャージャー、スーパーチャージャー)の使用は不可、ラムエアの導入は可。
- 2) キャブレターベンチュリ部の口径が 22φ相当以下であり、尚且つ無加工の製品であること。但しネジ式の交換可能なジェットとニードル類は変更可。

125-I クラス

- 1) 4 サイクル 125cc 以下のインジェクション車両。
- 5) 排気量 125cc 以下である限りエンジン及び車体の改造変更自由。但し過給装置(ターボチャージャー、スーパーチャージャー)の使用は不可、ラムエアの導入は可。
- 2) スロットルボディはメーカー公認状態を維持し、加工や変更は不可。
- 3) 補足：HRC グロムは 125-I クラスとなります。

Global (グローバル)

ほぼ無改造のエコノミカルクラスです。

参加できる車両と改造範囲は下記に限定されます。

ヤマハ	YBR125、YX125、YZF-R125、MT125、XSR125
ホンダ	MCR125、CG125、GROM、CBF125、CB125F、CBR125(R)、NSF100
スズキ	GN125、EN125、GSX-R125、GSX-S125
カワサキ	Z125、Z125PRO、KSR110、Dトラッカー125
KTM	RC125、125DUKE
アプリリア	RS4-125
タイガー	ホッパー125SE
GPX レーシング	デーモンホッパー(125)
SYM	T1-125
KYMCO	A. I. R. 150i
ベネリ	TNT125
ハスクバーナ	スヴァルトピレン 125
FB モンディアル	HPS125
AJS	キャドウエル 125

変更可能部品 (記載の無いものは変更できません)

シートとカウル類、ハンドル、レバー類、ワイヤー類、スロットル、メーター類、ステップ、エキゾーストマフラー、リアサスペンション(リンクなどは含みません)、前後のブレーキキャリパー、前後のマスターシリンダー、ブレーキローター(外径は純正と同サイズに限る)、ブレーキパッド(シュー)、ブレーキホース、スプロケット、チェーン、スパークプラグ、エアクリーナー(エアクリーナーボックス取り外し可、加工不可、ファンネル取り付け不可)、ネジ式のジェット類は変更可、ECU の書き換えや変更不可、サブコン追加可、オイル類、サーモスタットの取り外しまたはバイパス可。

Super Global (スーパーグローバル)

ほぼ無改造のエコノミカルクラスです。

参加できる車両と改造範囲は下記に限定されます。

ヤマハ	YZF-R15、YZF-R15/M、MT-15
ホンダ	CBR150、CBR150R、CBR150R-e、CBR150R-Fi
スズキ	GIXXER、GSX-R150、GSX-S150
変更可能部品 (記載の無いものは変更できません) シートとカウル類、ハンドル、レバー類、ワイヤー類、スロットル、メーター類、ステップ、エキゾーストマフラー、リアサスペンション(リンクなどは含みません)、前後のブレーキキャリパー、前後のマスターシリンダー、ブレーキローター(外径は純正と同サイズに限る)、ブレーキパッド(シュー)、ブレーキホース、スプロケット、チェーン、スパークプラグ、エアクリナー(エアクリナーボックス取り外し可、加工不可、ファンネル取り付け不可)、ネジ式のジェット類は変更可、ECU の書き換えや変更不可、サブコン追加可、オイル類、サーモスタットの取り外しまたはバイパス可。	

【Global クラスと Super Global クラス参加者の皆様へ事務局よりお願い】

この二つのクラスは、ノーマルを基準とした無改造クラスです。変更出来るパーツは記載のもののみとなります。

近頃ラジエターを変更したり、ホイールを変更するなどが見受けられます。このような車両は改造クラス(150 ccを除く)でお申込みください。

平等で公平な環境を保つためにも皆様の協力が欠かせません。

【タイヤ規定】

【カートコース戦、ショートサーキット戦催時のタイヤ規定】

- 1) 溝付きの一般市販タイヤを使用。
- 2) グルービングや溝堀などの加工禁止。
- 3) 磨耗限度を超えたタイヤは使用禁止。
- 4) タイヤのローテーション及びフロントとリアの指定を厳守。
- 5) レインタイヤ使用可。

【レーシングコース戦、筑波サーキット戦開催時のタイヤ規定】

- 1) 速度レンジが適合した溝付きの一般市販タイヤを使用。
12 インチは以下の製品のみ使用可。
ブリヂストン = S01/S02/BT-601SS WET
ダンロップ = KR337/KR337PRO/KR345
- 2) グルービングや溝堀などの加工禁止。
- 3) 磨耗限度を超えたタイヤ使用禁止。
- 4) タイヤのローテーション及びフロントとリアの指定を厳守。
- 5) レインタイヤ使用可。

【全クラス共通車両ルール】

- 1) アンチロックブレーキシステム(ABS)の取り外し、またはシステムをバイパスすることは可。
- 2) エンジンのキル・スイッチを必ず取りつける事。ハンドルを握ったまま操作できる位置に配置すること。
- 3) ゼッケン番号を「正面」と「左右」の「3箇所」に貼ること。数字が認識できる状態であれば色や文字形に規定なし。
フルカウル車の左右：カウルサイドにできるだけ大きく表示。
ネイキッド車の左右：ゼッケンプレートを装備し、できるだけ大きく表示。
- 4) ニーグリップ可能な状態であること。
- 5) ヘッドライト、ウインカー、ミラー、テールライト、ホーン、サイドスタンドなどの突起物は取り外すこと。
- 6) マフラーの音量は 100 デシベル以下。
- 7) 4 サイクルエンジンに関しては、全使用オイル量を受け止められる形状と容量のアンダーカウルを装着しなければなりません。またアンダーカウルは、水抜用の孔を 1 個は設けるようにし、その孔はドライコンディション時には閉じるようにし、雨天時には開けるようにすること。（レーシングコース、ショートサーキット戦、筑波サーキット戦）
- 8) 4 サイクルエンジンに関しては、金属製の容量 200 cc以上のオイルキャッチタンクを装着。タイラップでの取り付け禁止。但しブローバイがインテークボックスに接続されている純正品が装着されている車両はキャッチタンク不要。
- 9) オイルドレンボルト、オイルフィルターキャップ、オイルプレッシャーライン、オイルエレメントにワイヤーロックを施すこと。
- 10) キャブレターオーバーフローパイプとガソリンタンクブリーザーパイプにキャッチタンクを装着。
- 11) クーラント液は使用禁止。
- 12) 前後フェンダーの取り付けは、タイラップのみでの取り付けは禁止。ボルト等で確実に取り付けること。ドリブンスプロケットが露出している車両はプロケット上部と下部（写真参照）にカバーを装着すること。

- 13) ドライブsprocketにカバーを装着すること。
- 14) グリップエンドの金属が露出している車両に関しては、エンドキャップ装着厳守。また、レバー類などの露出している金属端部は丸みがついた物を使用すること。
- 15) 鋭角なステップエンドは使用禁止。先端を丸く加工するなどの対策を講じてください。エイブやスーパーカブ等のノーマルステップを使用している車両はゴムパッドを外さないで下さい。
- 16) 前後のブレーキシステムは、ボルトとナットで強固に固定するものとし、暫定的な固定方法では走行することが出来ません。



【スタート方法】

ル・マン式でレースがスタートします。但し雨天時にはスタート方法を変更する場合があります。

エンジンが始動した状態でグリッドに整列し、ピットクレーが車両を保持します。

なお筑波戦に於いては、車両を保持する者はヘルメット装着となります。

＜筑波サーキット戦＞

スタート直後の1コーナー密集に於ける混乱を避ける為、2段階によるルマン式スタートとなります。

第1スタートはグリッド1~40番、第2スタートは41~最後尾となります。

【スタート進行】

- 1) 指定時間内にグリッドへ移動する。間に合わない場合はピットスタート。
【注意】グリッド上で「タイヤウォーマーを使用したり、工具や器具(スタンドを除く)を持ち込むことは禁止となります。」
- 2) 車両保持者を残し、グリッドよりメカニックは退去。エアバッグ装着者に於いては、エアバック接続の為のクレーを配置できます。但しそのクレーはエアバック接続以外の作業は一切できません。
- 3) スタート1分前(3分前の場合もあり) エンジンスタート。
エンジンスタート後は場内アナウンスが聞こえなくなるため参加者の皆様へ情報が伝達できなくなります。それを避けるためにも合図があるまでエンジンをスタートしないようお願いします。
- 4) 「スタート30秒前看板」提示
- 5) スタート5秒前より信号によるカウントダウンを開始
- 6) レーシングコース戦 = シグナルによるブラックアウト(消灯)にてスタート。
ショートコース戦 = 青信号点灯にてスタート
筑波サーキット戦、カートコース戦 = フラッグタワーより旗が振り降ろされたらスタート

【ライダー交代】

レース中のライダー交代はいつでも可能です。

【ピット作業】

ピット作業範囲に規定はありません。エンジンを交換したり、フレームを交換することもできます。ただしスペアマシンの使用は一切禁止となります。

【ピットレーンの規制】

ピットレーン入口より出口の間は以下の規制が掛かります。

レーシングコース：60 キロ以下

ショートサーキット：手押し、自走不可

カートコース：40 キロ以下

筑波サーキット：40 キロ以下

【ピットインの回数 対象：レーシングコース戦、ショートコース戦、カートコース戦】

レース中に8回（カートコース、ショートコース戦は12回）のピットインが義務となります。レース終了までに8回(12回)に満たない場合は1回不足毎に結果表より2周減算のペナルティが科せられます。

但し途中でリタイヤ（チェッカーを受けられない場合）した場合はこのルールを適用しません。

ピットインの定義は、ピットレーン入口で回数を確認するものであり、ライダー交代の有無は問いません。またピットイン回数の確認方法は自動計測機により確認を行います。赤旗中断やペナルティによるピットインも回数に含みます。

なおコース内でストップシレッカーにより直接パドックやピットへ搬送された際、それをピットインとしてカウントしません。

<途中でリタイヤ、またはチェッカーを受けられなかった場合>

順位の確定はチェッカー優先となります。よってチェッカーを受けられなかった場合は“未完走(DNF)”となり、順位は最後尾となります。複数のリタイヤが存在する場合は、その中で周回数により順位付けされます。

なお「チェッカーを受ける」とは、最終ラップに於いてコントロールラインまたはピットレーン側のコントロールラインを通過することを意味します。

“ご注意ください” ピットインの最中にチェッカーが振られた場合はチェッカーを受けた事になりません。

【黄旗区間の走行】

- 1) 黄旗が掲示されるとは、この先に転倒や障害物等何らかの障害が発生している状態を意味します。
 - A) レーシングコース戦、ショートサーキット戦：黄旗区間は、**注意を払い安全な速度で走行**してください。
 - B) カートコース戦：黄旗が振られた地点より追い越し禁止となり、緑旗が振られた地点より通常走行に戻ります。
 - C) 筑波サーキット戦：黄旗が提示されたポスト地点より追い越し禁止となり、緑旗が提示されたポスト地点より通常走行に戻ります。
- 2) 黄色旗 1 本振動の意味 = この先に転倒者や障害物などがある！
黄色旗 2 本振動の意味 = コースのライン上等に転倒者や障害物などがある！ 更なる警告。

【赤旗】

重大な事故等が起きた際は赤旗でレースが中断します。安全な速度で走行しピットレーンエンドに戻りレース再開をお待ちください。

なおこの間もレース時間に含まれます。またライダー交代も可能です。

ピットレーンでリスタート待機中は、マシンの整備やタイヤウォーマーの使用は出来ません。

<赤旗掲示からスタートまでの流れ>

- 1) 赤旗が提示された時点より追い越し禁止となり、安全な速度でピットレーンエンドに 1 列に整列する(筑波戦は 2 列)。
- 2) 赤旗を確認したら手などを使い、出来る限り後続車両に合図を示して頂くようお願いいたします。
- 3) ピットレーンエンドの信号が「緑」を示したらコースインが可能となり、レースが再開（カートコースは旗が振られたらレース再開）

【チェッカー】

レースや練習走行の終了を意味します。チェッカーを受けたら安全な速度で走行し、追い越し禁止でピットまで戻ってください。なおチェッカーを受けた直後の急減速は追突事故を誘発するため禁止となります。

【セーフティカー(SC) (ショートサーキット戦、筑波サーキット戦)】

コース内に危険箇所が発生した際はセーフティカー(SC)が介入する場合があります。

SC の手順

- 1) コントロールラインより SC のボードが掲示され、黄色信号が点滅し、ここから SC 状態に入る。
- 2) 手や足などを使い後続車両に注意を促すとともに、徐々に安全な速度へ減速し追い越し禁止状態を維持し一列で周回する。この間にピットインもできます。
- 3) SC がランプを点滅させてコースに進入する。
- 4) 一列の隊列で走行維持。
- 5) SC の解除が近づくと、SC のランプが滅灯する。
- 6) SC は最終コーナーよりピットインする。
- 7) 緑旗が振られ、尚且つ自車がコントロールラインを超えたらレースが再開する。なお自車がコントロールラインを超えるまでは SC 状態を維持しなければならない。

【緊急車両】

救急車やレッカー車がセーフティカーの有無にかかわらずコースを走行する場合があります。救急車やレッカー車は追い越し禁止ではありませんが、追い越しの際は最大限に注意してください。

【ペナルティ】

- 1) コース上、ピットレーン、燃料給油、マナー違反行為などには競技長の判断によりレース中または結果表よりペナルティが課せられます。
- 2) 筑波サーキットに於いては黄旗区間の追越し違反は、チームに対し以下のペナルティを課します。なお黄旗区間とは、黄旗提示ポスト地点から緑旗掲示ポスト地点の間を意味します。
 - 1 回目→ストップ&ゴー
 - 2 回目→ペナルティストップ 5 秒を加算、3 回目 10 秒…… 5 回目 25 秒
- 3) ペナルティに関して抗議は受付いたしません。

【コース上での停止】

コース内で停止する場合には、ライダーは車両をコース脇の安全な場所へ移動させてください。

車両を押してピットに戻る際には、ランオフエリアのみとし、コースの逆走や横断は禁止となります。

コース上にてトラブル等によりライダーが自力にてピットに車両を戻せない場合は安全な場所へ退避しオフィシャルによる指示を待ってください。筑波サーキットに於いてはエスケープゾーンを使用してピットに戻ります。



【リタイヤの宣言】

チームの判断によりレースを途中で終了する際は、事務局にその旨を報告し発信機の返却をもってリタイヤとします。

【レース終了】

- 1) レース終了は、スタートしてから6時間時間経過後、総合一位の車両からチェッカーが振られます。チェッカーを受けたら安全な速度に落としてピットインしてください。
- 2) レース時間を終了する前にチェッカーフラッグが振られた場合には、レースはそれをもって終了とします。
- 3) セーフティーカー走行時間や赤旗中断中もレース時間としてカウントされます。
- 4) 天候不順などの理由により主催者判断にてレースを短縮して終了する場合があります。

【燃料給油】

- 1) 指定された給油場所で給油を行ってください。
- 2) 一般の市販燃料を使用してください。
- 3) 無改造の市販金属製携行缶から直接給油を行なって下さい。
- 4) 給油は、バイクの燃料タンク交換、オイルジョッキ、ポリ容器等は使用できません。
- 5) 給油作業は1チーム2名以上で行ってください。
- 6) 給油場所ではライダー交代以外は全ての作業が禁止です。
- 7) 給油手順は下記の通り（レーシングコース、ショートサーキット、筑波サーキット）
 - ① 給油所へ移動
 - ② スタンドにより車両を確実に固定。

- ③ 給油開始。給油中はチーム員が消火器を構える(消火器は現地に備えています)。
- ④ 給油完了。給油所を汚してしまった場合は清掃お願いします！

【オンボードカメラについて】

- 1) ヘルメットと装備品への取り付けは不可。
- 2) 車両に取り付ける際は脱落防止のワイヤリングを施し、ボルトで固定すること。

【場内でのルールとお願い】

- 1) 場内の道路は一般公道扱いとなります。移動の際は適正な運転免許証を保持し制限速度を守って移動してください。2 輪車で移動の際はヘルメットを装着してください。筑波サーキットでの場内移動は自転車のみ許可されます。
- 2) パドック、駐車場、場内路での暖機走行やテスト走行は絶対行わないでください。
- 3) 駐車禁止場所を厳守ください。
- 4) 喫煙の際は喫煙場所をお願いします。
- 5) 筑波サーキットは場内での BBQ は禁止となります。

【補足、ローカル的な注意事項】

<レーシングコース>

- 1) ピットレーンのスピード違反が多いです。
特にピットエンド信号手前でのスピード違反が多発。ピットレーンの信号を超えてから加速するようご注意ください。
- 2) 最終コーナー立ち上がりでのハイサイドによる転倒。
車両はコース真ん中に転がり停止。即赤旗の状況。最終コーナーをアクセル全開で立ち上がってきたものの、転倒車両を避けきれず、そのまま追突するとても危険な状況となります。最終コーナーのポスト旗と信号を見落とさないようご注意ください。
- 3) 掲示旗の確認
レーシングコースはエスケープゾーンがとて広いのでポストまでの距離が遠いです。それによりポスト旗の見落としが多く見受けられます。事前に練習走行、体験走行、走行会などを利用しポストを正確に確認し走行に備えてください。

<ショートサーキット>

- 1) 4つ目(Bコーナー)の上りコーナーで車速が異なる車両同士のライン交錯による接触事故。
このコーナーにおいての追い越しはライン交錯を予測し、十分な間隔確保をお願いします。

<カートコース>

- 1) コースインの際にストレート延長線上に停止してからコースイン。
これはとても危険です。ブレーキトラブルの車両とTポーン状態で激突する可能性があります。コースインの際は入口手前での確認をお願いします。
- 2) 最終コーナー立ち上がりでの転倒
最終コーナー立ち上がりで転倒し、その場でエンジンスタートを試みる行為。
これはとても危険！多重クラッシュ誘発の危険性大！ここで転倒したら即移動を！
最終コーナーは、アクセル全開で立ち上がってくるため、障害物を避けることがとても難しいです。
転倒したらまずは安全な場所まで即移動してください。

3) ストレートでのウェービング。

他者がラインを予測できないと共に、相手のラインを塞ぐとても危険な走法です。ウェービングは行わないようお願いします。

<筑波サーキット>

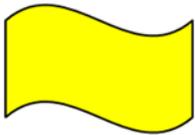
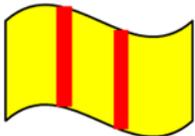
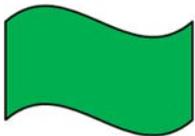
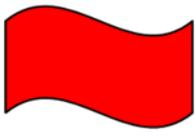
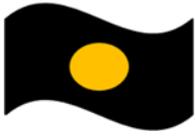
1) ホームストレートで他車との接触。

ストレートを走行中、ピットのサインボードを確認するがために右横を向き、そのまま前走者に追突する筑波特有の事故が起きています。これらは即赤旗となりますが、同時に2次災害を誘発する可能性がとて高く危険な状態です。最終コーナーの信号を見落とさない、そしてサインボードの注視にはご注意ください。

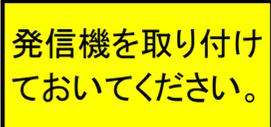
2) オイル漏れの注意！

オイル漏れにより路面を汚した際は「オイル清掃料金」が発生します。料金は10m = 1,000円！つまり1周オイルをばら撒くと20万円の清掃費用が発生します。これらは、お財布にとてキツイです。

もしオイル漏れが発生したら直ちに安全なエスケープゾーンへ停止することを強く推奨します。またオイル漏れを未然に防ぐ、車両に対する工夫もお願い致します。

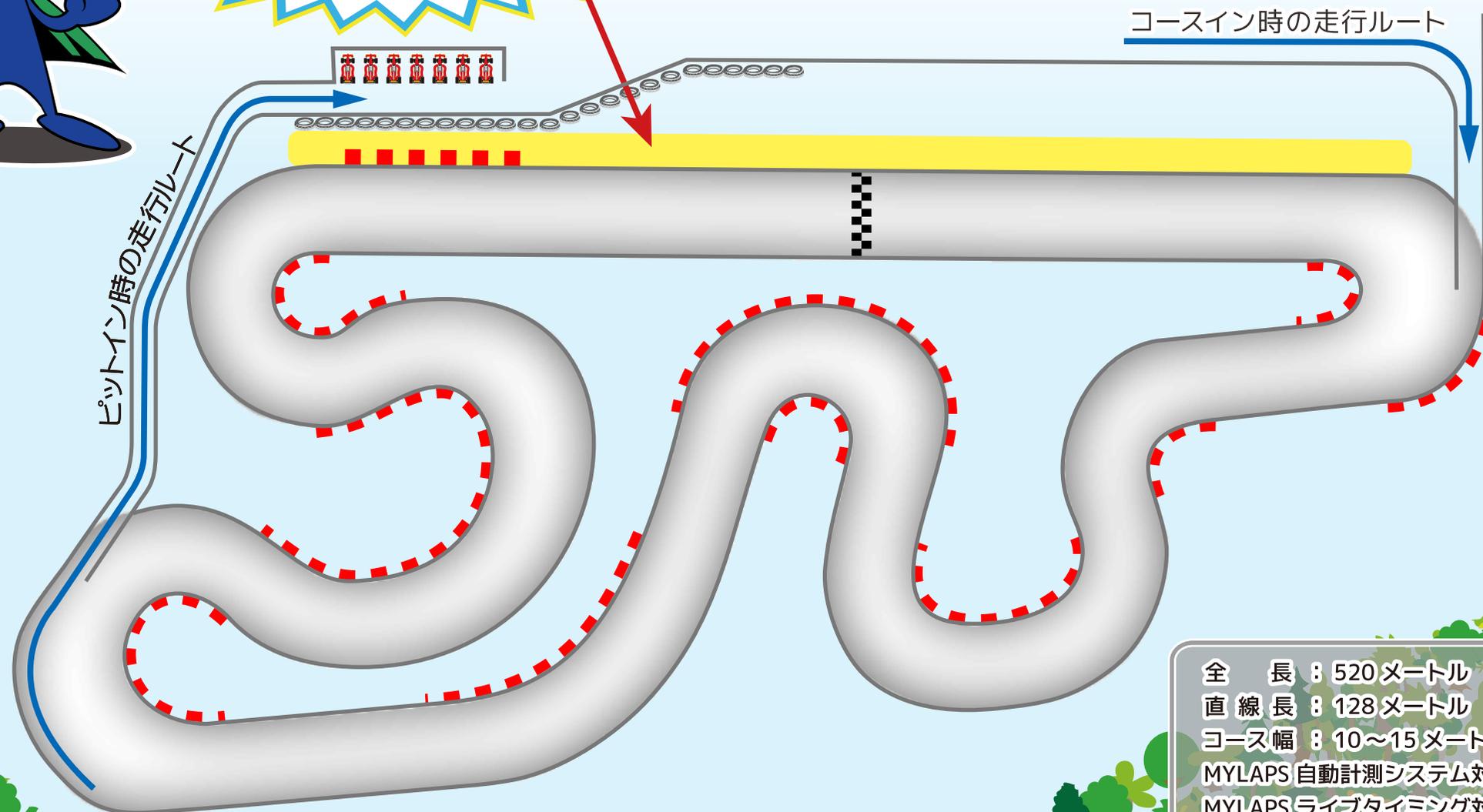
掲示旗	対応	意味
	注意して走行！ ※徐行ではありません！	前方に障害あり！注意して走行！ 筑波サーキット戦とカートコース戦は、追い越し禁止！ 2本振られている時は更に危険度が高い意味となります。
	とくに注意して走行！ 黄色旗と同時に発動する場合もあり	水・クーラント・オイル・砂利・部品などが出ているため注意して走行！ 数周回提示されてから非表示となる
	通常の走行に復帰！	警告旗の解除。
	走行を中止！ 安全な速度でピットに戻ってください。	走行を中断しなければならない状況にある時に発動される。 追い越し禁止を維持してピットに戻る。
	注意して走行！	コース内に低速車両が介入しているため注意して走行。
	車両に異常あり！ ゼッケン番号も掲示されます	車両に不具合が見られる為、ピットに戻らなければならない。 筑波戦 = 速やかにコース脇の安全な場所に停車！ 一例：発信機の取り付け位置不良、白煙が出ている・・・など
	ピットに戻る！！ ゼッケン番号も掲示されます	非スポーツマン的行為が見られるライダーに掲示され、ピットに戻らなければならない。失格と言う意味ではない！

カートコース戦 タイムスケジュール

	7:00	8:00	9:00	15:00	16:00
参加受付					
車検					
ブリーフィング					
練習走行					
レース					
お知らせ	ゲートオープンは 7:00（予定）、東ゲートより入場ください。				

**【重要】**

黄色いエリアは危険回避時などに走行する
「エスケープゾーン」として使用します！
走行ラインとして使用しないよう
お願いいたします！



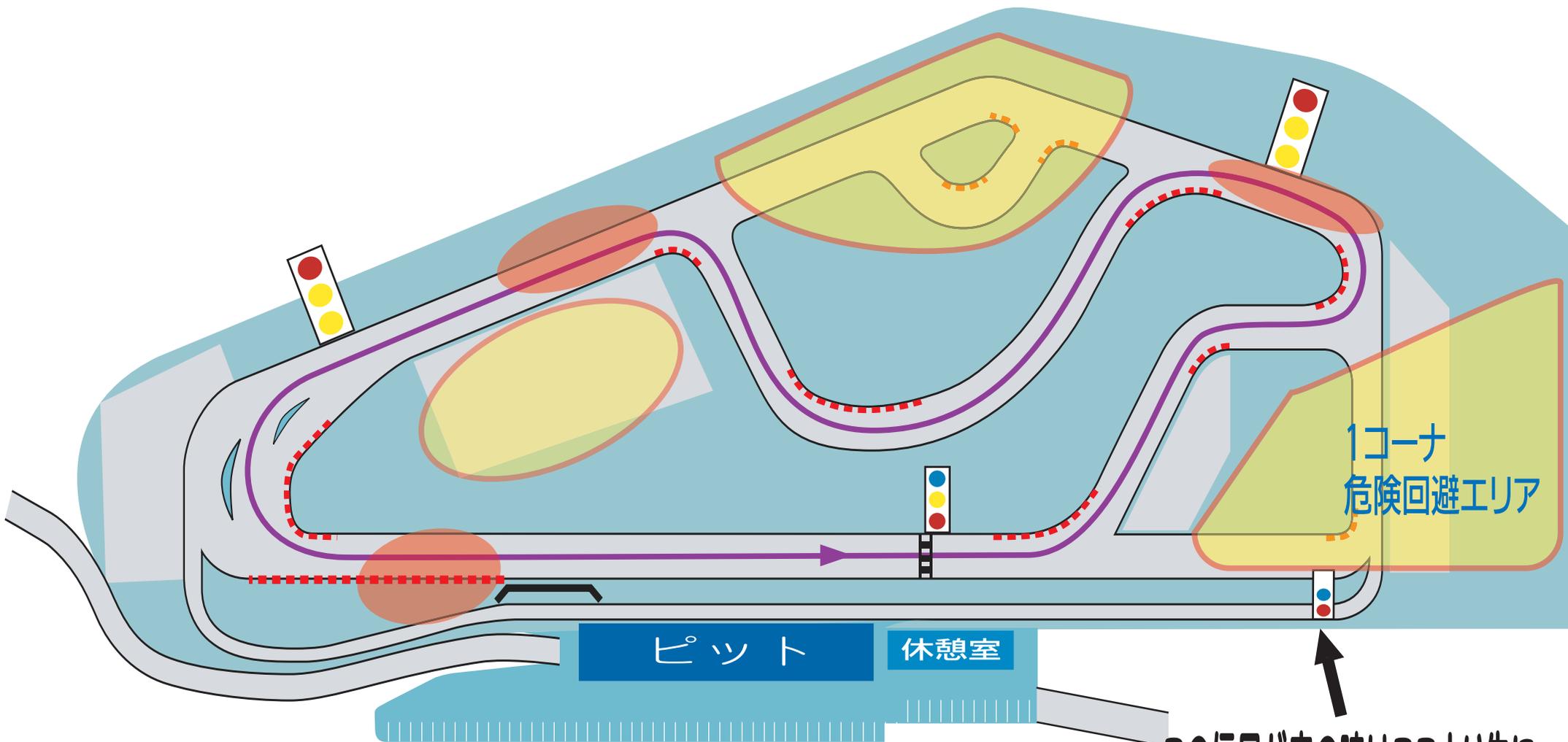
全 長 : 520メートル
直 線 長 : 128メートル
コース幅 : 10~15メートル
MYLAPS 自動計測システム対応
MYLAPS ライブタイミング対応

ショートコース戦 タイムスケジュール

	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	12:30	15:30	16:00
参加受付	コントロールタワー1F 参加誓約書提出、運転免許証提示									
	コース内歩行可能時間帯									
車検	14番ピット 車両仕様書と装備仕様書を提出									
ブリーフィング										
有料練習 (当日申込)				8:00~ 8:25						
公式練習					8:30~ 8:55					
レース						① ②	決勝			表彰式

コースイン時の詳細スケジュール

① コースイン開始	9:05~9:25 コースイン
② ピット出口封鎖	9:25 出口閉鎖(以降はピットスタート)
スタート3分前	チームクルー1名を残しグリッドより退去
スタート1分前	1分前ボード提示
スタート30秒前	30秒前ボード掲示
スタート	旗が振り下ろされたらスタート

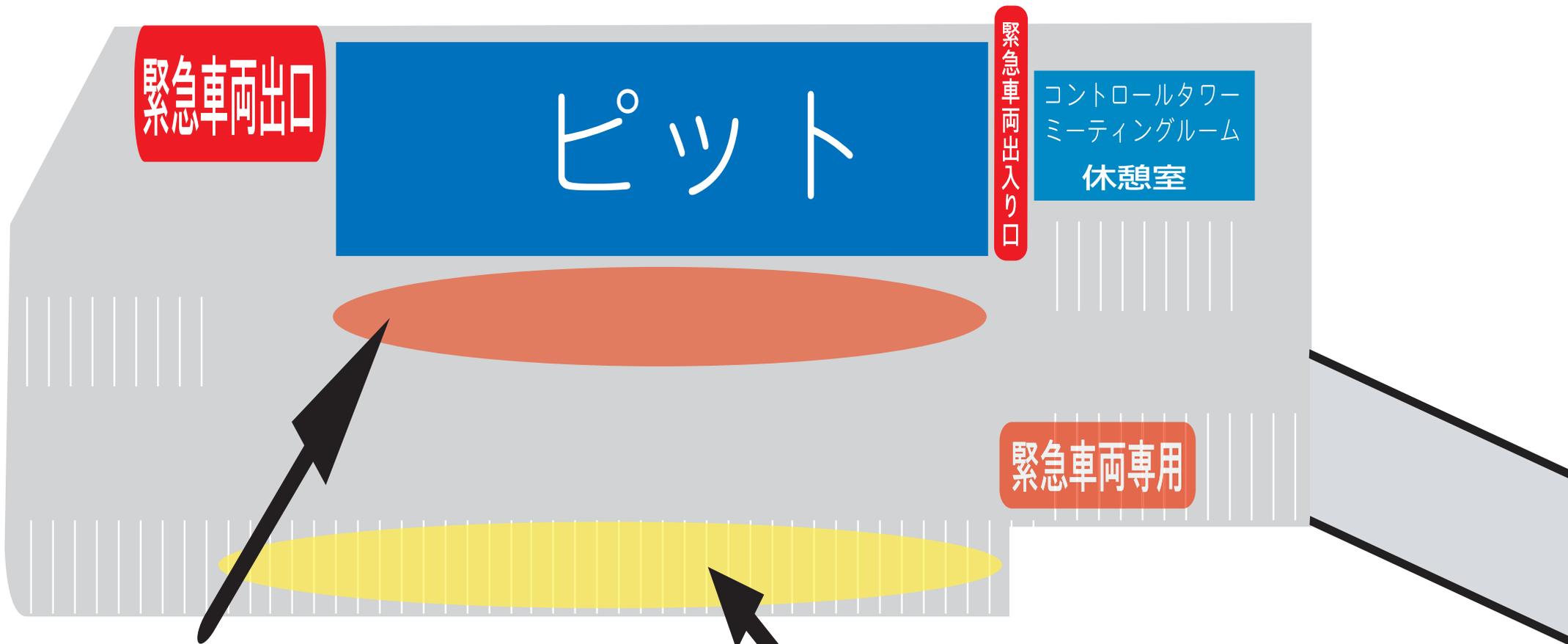


 ← 危険回避エリア = トラブル時の押しがけや停車可

 ← 危険なエリア = 停車時は進行方法に即移動する事！

この信号が赤の時はここより先に進めません。青に変わってからコースインしてください

“重要” トラブルなどの理由で車両を押ししてピットに戻る際は、必ず進行方向へ進んでください。
 但し1コーナー危険回避エリアで停車し再始動出来ない場合はピットロードを押し逆走方向へ進んでください



ピット裏はテントを設営したり、BBQ等を楽しむ共有場所です。トランスポーターの留置き禁止です。

この駐車エリアは各チームのゼッケン番号で割り振ります。番号を確認して駐車ください。その他の車両は、最終コーナー側の駐車エリアをご利用ください。